

朗読と音楽の調べ

朗読

安藤 千鶴子

(音声表現講師／元・北海道放送アナウンサー)

カンテレ演奏

あら ひろこ

(カンテレ奏者)

朗読作品(予定)

三浦綾子作品

『母』

演奏作品(予定)

『トナカイの子守歌』

『雪の日』

『竹田の子守歌』 ほか

2017 年

2月26日(日) 開場12:30 開演13:00

有島記念館アートホール(ブックカフェ有島記念館×高野珈琲店)

常設展観覧料のみで入場できます

[大人500円、高校生100円、中学生以下・65歳以上のニセコ町民は無料]

詳細については、有島記念館公式ホームページをご覧ください、
電話(0136-44-3245)にてお問い合わせください。

主催 ニセコ町・有島記念館

出演者プロフィール(敬称略)



安藤 千鶴子 あんどう ちづこ

北海道帯広市に生まれる。1960年、北海道放送へアナウンサーとして入社。以来、テレビ・ラジオの司会、レポート、ドキュメンタリーの内레이션など担当。全国初の午後の情報系ワイド番組「パック2」では、中継レポーターとして道内各地を訪ねる。後年は、アナウンス部長として後進の指導に当たる。退職後は「朝日カルチャーセンター札幌」をはじめ各地で大人や子どもを対象にした「読む・聞く・話す」講師を務めているほか、朗読会などにも出演している。

語りを担当したヒューマンドキュメンタリー「いのちの記憶～小林多喜二29年の人生」（構成 守分寿男、演出 守分寿男・松田耕二）が2008年度芸術祭大賞を受賞。



あら ひろこ

北海道フィンランド協会事務局勤務をきっかけにフィンランドの伝統楽器カンテレの存在を知って小型カンテレを弾き始め、その後、フィンランドにてフォーク・スタイルのカンテレとフィンランド伝統音楽を学ぶ。

情景を描きだすやわらかな演奏を持ち味に、カンテレの音色を生かしたオリジナル曲や即興、北歐やケルトの伝承曲や日本の歌などを中心に、全国各地およびフィンランドにて演奏。

ソロを中心に、馬頭琴・喉歌の嵯峨治彦とのユニット” RAUMA” ほか、様々なジャンルのミュージシャンや、朗読、美術などとのコラボレーション多数。

2013年、フィンランドで開催された第2回国際カンテレ・コンペティションに嵯峨治彦とのデュオ RAUMA で参加し、プロフェッショナル部門第2位。これまでに” Garden” ” Moon Drops” ” Birds and The Tree” の3枚のソロアルバムをリリース。現在、北海道小樽市在住。

有島記念館

〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島 57 番地

電話番号：0136-44-3245

開館時間：9：00～17:00(入館は 16:30 まで)

休館日：月曜日(5月～9月は無休)、年末年始

展示案内

「三浦綾子『母』と演出家・守分寿男の仕事」

2017年10月9日まで開催

有島記念館若手作家展「カトウタツヤ展」

2017年3月18日より6月11日まで開催